



地図の編集時に留意している点のひとつに、図取りがあります。図取りとは、紙面に掲載する地区の縮尺と範囲・配置のことです。本図では、アメリカ合衆国をできるだけ大きく掲載しつつ、カリフォルニア半島、ノバスコシア半島などの周辺部も図取りに収まるようにし、地形的に連続する地域や経済的に結びつき強い地域を一体的に捉えられるよう配慮しています。

こうした世界の地図を読むときの難しい点のひとつに、距離感の把握があります。本図のタイトル枠内にはスケールバーを記載していますが、こちらから正しく距離感を把握することは、簡単なことではありません。そこで本図には、距離感の目安となる同緯度・同縮尺の日本を大西洋上にアカ刷りし、日本列島の長さに対比させて距離感を把握できるように工夫しています。さらに、身近な都道府県と対比して広さを捉えられるよう、本図の同緯度・同縮尺の日本には、都道府県の境界線も入れています。地図の大きさ・地域の広さにも目を向けることで、生徒の世界がさらに広がり、深まるものと考えます。(帝国書院編集部)

には、距離感の目安となる同緯度・同縮尺の日本を大西洋上にアカ刷りし、日本列島の長さに対比させて距離感を把握できるように工夫しています。さらに、身近な都道府県と対比して広さを捉えられるよう、本図の同緯度・同縮尺の日本には、都道府県の境界線も入れています。地図の大きさ・地域の広さにも目を向けることで、生徒の世界がさらに広がり、深まるものと考えます。(帝国書院編集部)